

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2020年2月10日

No 386

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

リストラ・処遇制度改悪阻止

59人が出席

電機労働者懇談会（電機懇）は電機・情報ユニオンとの共催で、1月18日（土）午後1時15分～5時にかけて都内「東京労働会館」7Fラパスホールにて、「20春闘、電機の集い」を開催しました。この集いには、12企業31職場・4団体から59人（昨年61人）が参加しました。



生活改善額の加重平均5万2630円

司会は電機懇相原・林事務局次長がつとめ、電機懇今井節生代表は主催者挨拶で「20春闘の課題は、法律無視のリストラ阻止、大幅賃上げと雇用の安定などを実現させよう」と訴えました。

第1部は、電機懇谷口利男事務局長が、20春闘「要求アンケート」に寄せられた302枚の集計結果の特徴について「生活の苦しさを64%の人が訴え、生活改善額で3万円以上を求める割合が87%になっており、加重平均で5万2630円を求めている」と強調しました。続いて、電機懇「20春闘提言」（2Pに骨子掲載）は電機懇井坂正敏政策委員長がポイント報告を行い、電機・情報ユニオンの「20春闘方針」を森英一書記長が報告しました。第2部は、電機懇林事務局次長が「賃金制度政策提言「骨子」」を報告しました。

報告を受けて、春闘アンケートの取り組みや年後の再雇用のひどい実態について、出席者からの相互討論が行われる状況となりました。

処遇制度の実態と改善に向けて

電機懇林事務局次長が「賃金制度政策提言「骨子」」を報告し、NEC・沖電気・ルネサス・サンケン・富士通・日立・東芝・パナソニック・パイオニアの各社から実態報告書に基づき報告し、三菱電機とアンリツは実態報告書のみでした。

閉会挨拶は、ユニオンの米田委員長が行い、電機リストラに対して行政を動かし団交で解決を迫る取り組み内容と、電機労連が作成してきた生計費調査結果の経緯を報告し、職場に自由と民主主義を守る闘いの必要性を強調し、がんばろう三唱で閉めました。

今月号の紙面

- ① 20春闘「電機の集い」を開催
- ② 20春闘・電機懇提言のポイント
- ③ 20春闘で「経団連」包囲行動
- ④ 2020「経労委報告」について
- ⑤ 東芝明るくする会「年次総会」
- ⑥ ラプラス「市議になって」千葉さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 日立リストラから職場・地域を守る決起集会。 集積回路